



春日小だより

令和7年4月7日
練馬区立春日小学校
校長 後藤 京子
学校通信 4月号

ご入学、ご進級おめでとうございます

校長 後藤 京子

暖かな春の陽気にさそわれて色鮮やかな花が咲き乱れる中、本日、始業式と入学式が無事に行われました。お子さまのご進級、ご入学おめでとうございます。春日小学校は、新たに、61名の1年生を迎え、全校児童300名、12学級で新年度をスタートし、いよいよ令和7年度の教育活動が始まりました。ピカピカのランドセルを背負って入学式に臨む新1年生の笑顔は、学校に新しい希望と光を引き込んでくれます。また、新6年生のお祝いの言葉は、とても頼もしく、明日からの1年生のお世話を安心して任せられます。我々教職員も、子どもたちの頑張ろうとする気持ちを大切に、開校43年目を全力でスタートさせます。そしてこれまでの歴史を振り返りながら、学校、地域のことをさらに知り、保護者、地域の皆様から信頼され、愛される学校を目指します。チーム春日として、力を合わせて取り組んでまいります。

本校は、令和6年度、7年度と練馬区教育委員会教育課題研究指定校として、主題「今や未来を自分事として考えられる児童の育成」、副主題「E S Dの視点に立った主体的・協働的な学びを通して」の下、研究を進めております。これを受け、今年度の教育目標に中期的な目標としての視点を取り入れ、「地域とつながり、未来を拓く持続可能な社会の創り手」となるよう「自ら学び つなげ 広げ 自ら行動する児童の育成」といたしました。現在、廃棄物、気候変動、生物多様性の喪失等の問題、地球にとって三重の危機を迎えており、人類が破局を迎えるのを傍観するのか、あるいは人類が地球の破局を抑え、持続可能な未来を手にするのかの岐路にあります。E S Dとは、これら現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組むことで問題の解決につながる新たな価値観や行動の変容をもたらす持続可能な社会を実現していくことを目指して学習や教育活動を行っていくものです。昨年度は、全教科・領域で研究に取り組みましたが、今年度は、低学年が生活科で、3年生以上は総合的な学習の時間を中心に探究的な学習過程を重視し、学習者を中心とした主体的な学びの機会を充実させていきます。子どもたちが、「自分の問題」として行動する実践力の育成を目指し、グループ活動を取り入れながら、話し合い、協力して調査やまとめおよび発表を行い、協働的な学びを深めていきます。

研究発表は、令和8年2月20日（金）です。地域の人とすすんで関わり、ねばり強く問題解決を図っている子どもたちの様子を近隣校の先生方に見ていただけるよう、研究を深めてまいります。

本年度も子どもたちの健やかな成長のため、本校の取組を見守り、ご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。